

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶歳を重ねると昔に習ったことが三つ子の魂のようにいつまでも離れずに、思考の自由を奪います。物事を特定の観点から色眼鏡で見ってしまうのです。私の場合は物事を解釈する二面性のバランスがおかしいようです。ちょっと手垢にまみれた古くさい言説ですが、J.L. オースティンの言語行為論 (speech act theory) によると、あらゆる発話や文章は、事実確認的 (connotative) な解釈と、行為遂行論的 (performative) な機能の二つの側面を常に備えているといえます。(字面の) 意味と(行間の) 意図と要約してもよいかもしれません。例えば、京都人から「ぶぶ漬けでもいかがです?」などと、はんなり言われたら、「ちょうど腹減ってたんだ、何てタイムリーなありがたいお気遣い!」なんて喜んでる場合ではなく、「もう帰れよ爺いっ!」と罵声を浴びていることに気付かなければならない、といった滝汗な場面を思い浮かべてもらえばわかりやすいでしょうか。このように、ある文章は、いつ、だれが、どこで、何を、どのような状況で発せられたかによって多義的です。解釈や影響に幅が出てしまうのです。ことばのあやふやさや恣意性にいつも悩まされる(他人との受け止め方の違いを言語行為論で分析してしまう) のが、私に取り憑いた三つ子の魂です。

▶で、いったい何が言いたいかと申しますと、例の1都3県の緊急事態宣言「飲食店の営業は20時まで」という言説の解釈についてです。時事ネタを編集後記で触れると、鮮度が落ちた時に読まれたら古臭い違和感を与えてしまうでしょうが、あえて後世への記録として持ち出してみました。内閣官房の公式文書には「20時以降の外出自粛」とも書かれています。診療ガイドラインの基準値の設定もそうなのですが、境界線というものは、わかりやすさを重視してある程度エイヤッと思いついて決めなければいけません。つまり、20時自体にはそんなに深い意味はないのです。それが、「20時までならドンチャン会食してもよいと、お上から許可が出た!」と曲解する輩が湧いて、しみじみします。逆に、緊急事態宣言という厳しい字面から、すべての社会活動に敵意を燃やして妨害したり、果ては攻撃を加えたりしようとする迷惑さに啞然とすることもあります。ことばで真意を伝えるって、とても難しいですね。皆さま、肅々と感染の標準予防策(手洗い、マスクなどの个人防护具使用、3密[密集・密接・密閉]回避)を守って、この未曾有のコロナ禍を乗り切りましょう!

▶毎回、同じ思いを開陳して申し訳ございませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切に「臨床放射線」は特異な編集方針をもつ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てていただければと切に願います。
森 壘

「臨床放射線」第66巻第2号

2021年2月10日発行(毎月10日発行)

定価 2,860 円(本体 2,600 円+税 10%)

年間購読料金

定価 43,670 円(本体 39,700 円+税 10%)

[年間13冊(臨時増刊号を含む)の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03(3811)7165 編集部直通

TEL 03(3811)7184 営業部直通

FAX 03(3813)0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

FAX 06(6941)5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。